

む ゆう じゆ
無 憂 樹

※題字は前住職・教修の筆

発行

浄土真宗 本願寺派(お西)

圓融山 信行寺

〒662-0921 西宮市用海町1-22

TEL 0798-22-2282



写真：ガンジス川の夕日

インドのヒンドゥー教徒にとってガンジス川は「聖なる川」とされ、川そのものが神格化されている。火葬した遺骨をガンジス川に流すことが死者への最大の敬意とされており、さらにこの川で沐浴するためにインド各地からの巡礼者が絶えることがない。

今月の掲示板

幸せは誰かに与えられるものではなく、
日々の生活の中に発見するもの。

～出典：鍵山秀三郎著『掃除道』～

伝道院実習生 布教実習法座

平成 30 年 7 月

法話の専門家「布教使」を育てる本願寺の養成機関「伝道院」より、3 人の実習生と引率講師が布教実習に来寺されました。実習生の皆さんは一生懸命お話をしてくださいました。



実習生の法話（ほか 2 名）



ご門徒の皆さまから
講評をいただきました



引率講師の法話。
さすがの貫禄でした！

夏季仏教講座

平成 30 年 8 月

～東西本願寺が分かれた理由について～

龍谷大学准教授・井上見淳師を講師に迎え、本願寺が東西に分かれた経緯を分かりやすく、お話くださいました。



龍谷大学准教授 井上見淳師



みなさん熱心にお聴聞

秋季彼岸会

平成 30 年 9 月

兵庫教区本願寺派寺院の若手僧侶の皆様が来てくださり、法話と雅楽の演奏がありました。



雅楽の演奏
(左から鳳笙・箏・龍笛という楽器)



若手僧侶の法話（ほか 1 名）



鳳笙（ほうしょう）



箏（ひちりき）



龍笛（りゅうてき）

親鸞聖人 報恩講

平成 30 年 11 月

親鸞聖人の祥月法要です。宗祖のご遺徳を偲ばせていただき、浄土真宗で最も大切な行事です。貝塚市正満寺ご住職、安方哲爾師からご法話をいただきました。



安方哲爾師の法話。大勢の方がお参りくださいました

日帰りバス旅行
～親鸞聖人ゆかりの寺院をめぐる～

平成30年9月、親鸞聖人ゆかりの寺院をめぐる「日帰りバスツアー」に行きました。当日は大型バスを貸し切り、40名以上の方がご参加くださいました。

宗祖ご誕生の地 日野誕生院



お坊さんによる説明



誕生院 本堂



階段を上り本堂へ



京都の景色が一望できます



安養寺山門

宗祖がお師匠・法然聖人と
お念仏を学ばれた地
吉水草庵 安養寺



六角堂 拝殿

宗祖夢告の地 六角堂



本山・西本願寺にて記念撮影

本山・西本願寺

住職活動報告

住職補任式

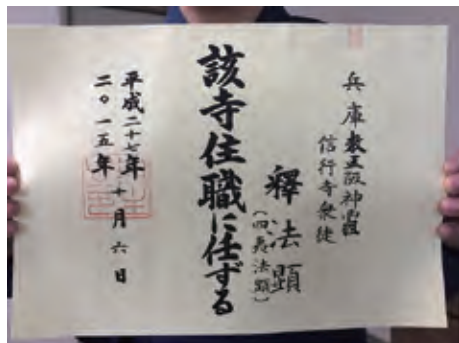
平成31年2月5・6日に本山・西本願寺へ住職補任式に行き、専如ご門主より住職の任命をいただきました。ご門徒を代表して門徒総代の勝部安之様がご同行くださいました。ご門徒の皆様にご親しんでいただけるお寺を目指して、精進してまいります！



新住職・門徒総代の
合同研修会



門徒総代の勝部安之様と
御影堂にて



住職任用日は申請した日付です

東京・築地本願寺に出講



「仏教Life」チラシ



講演の様子



築地本願寺全景。
インド様式の立派な建物で
国の重要文化財となっている

平成31年2月1日、東京の築地本願寺で「仏教Life」ストレス社会を生きるヒント」のテーマで講演をしてきました。築地本願寺は西本願寺系列のお寺で、東京における真宗伝道の拠点となっています。俳優の勝新太郎さんや歌舞伎役者の十八代目中村勘三郎さんなど、多くの著名人の葬儀が行われるお寺としても知られています。

西宮市仏教会

「花まつり」に法話出演

平成30年4月



「花まつり」の様子



出演者一覧



当院住職の法話

4月8日はお釈迦さまがお生まれになった日で、全国各地でお祝いの行事「花まつり」が行われます。西宮市仏教会でもフレンテ西宮にて500人以上の方が来場し、お釈迦さまのご誕生をお祝いしました。当院住職は法話を担当させていただきました。吉本興業の「ザ・ぼんち」さんなどの芸人さん方と登壇いたしました。今年は4月8日に西宮勤労会館にて開催されます。詳細は同封の「花まつり」の案内をご参照ください。

托鉢



阪神甲子園駅前で托鉢



のぼり

信行寺 仏教入門講座

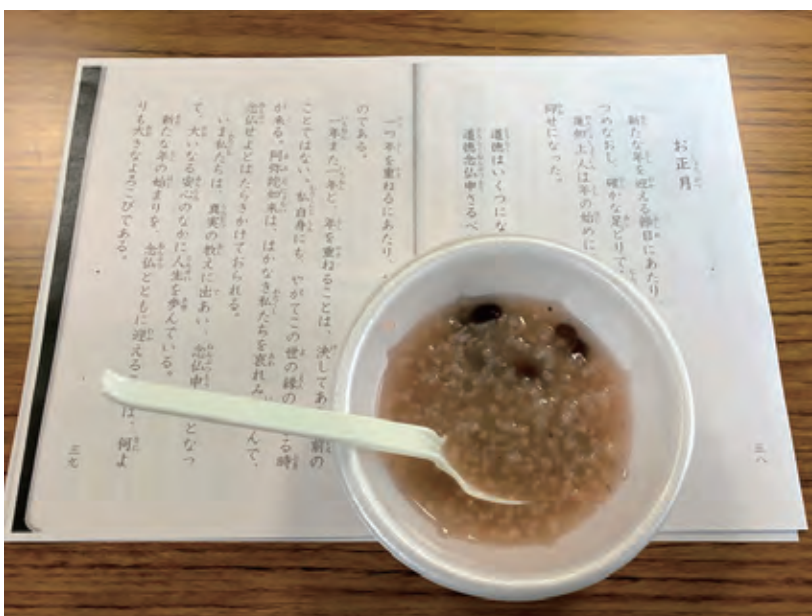
月に1度、住職が講師をつとめる仏教入門講座をしています。現在は「お釈迦さまの生涯と思想」のテーマでお話しています。



1月の様子。宗祖御絵伝の絵解き



多くの方が来てくださっています



宗祖が小豆好きだったということで、
若坊守お手製の小豆粥のお接待。
なかなか好評でした！

お知らせ

4月からいよいよ「浄土真宗の教え」のテーマに入ります。浄土真宗のご門徒であればぜひとも聞いていただきたいお話です。講師は当院住職、受講料・申込み不要、テストもありません（笑）！
阿弥陀さまのお話は有難いですよ。
4月以降の日程は改めてご案内いたしますので、皆さまの来寺を心よりお待ちしております。

ひとくち法話

この世に生まれて

昨年 7 月 1 日に長女が生まれました。赤ちゃんは無垢な笑顔と愛くるしい仕草で周りの雰囲気と和ませてくれます。この世に新たな命が誕生したことで、多くの方が祝福してくださり、親にならせていただいた私自身も大変うれしく思っています。

その反面、人間として命を受けたということは、この先、様々な苦しみや悲しみに出会っていかなければならないことも事実です。そもそも「誕生」の「誕」を辞書で調べてみると、「いつわり」という意味があります。「誕」は「言」偏に「延びる」と書くので、「おおげさなうそ」という意味をもつ漢字なのです。「誕生」とは、騙し・騙されが存在する「いつわりの世界」、つまり「誕」の世界に「生」まれてきたというのが仏教的な意味です。

しかし、人間の世界は仏法を聞くことができる世界です。苦しみや悲しみを支え

てくださる、「南無阿弥陀仏」という阿弥陀さまのお慈悲を聞かせていただける尊い世界です。この文章を書いている横で無邪気に笑っている娘ですが、これから多くの困難に直面していくと思います。どうか仏法を大切にしてこの人生を歩んでいてほしいと思います。

私たちには願いがかけられています。阿弥陀さまという仏さまの願いです。どんなに辛いことがあっても、どのような私になろうとも、決して見捨てることがない大悲の仏さまです。親鸞聖人は阿弥陀さまのお心を、次のような詩にしておられます。

平等心をうつるときを

一子地となづけたり

一子地は仏性なり

安養にいたりてさとるべし

「一子地^{いっしじ}」とは、阿弥陀さまが私たち一人ひとりを、あたかもひとり子であるかのように思っている心の境地のことです。

阿弥陀さまの慈悲は、私たちそれぞれをひとり子のように思い願ってくださいます。娘の姿を通して、この私にかけてくださっている阿弥陀さまの「親心」を聞かせていただいたことでした。

合掌

住職 四夷法顕

文乃（ふみの）です！
よろしく願いします♡



お寺の風景



おじいちゃんと



蓮華がきれいに咲きました



大晦日は除夜の鐘を撞きました

二〇一九年度 年忌表

一周忌	： 平成 三十年 往生
三 回忌	： 平成 二十九年 往生
七 回忌	： 平成 二十五年 往生
十三回忌	： 平成 十九年 往生
十七回忌	： 平成 十五年 往生
(二十三回忌)	： (平成 九年 往生)
二十五回忌	： 平成 七年 往生
(二十七回忌)	： (平成 五年 往生)
三十三回忌	： 昭和六十二年 往生
五十回忌	： 昭和四十五年 往生
百 回忌	： 大正 九年 往生

◇過去帳をご確認の上、ご希望の日時はお早めにご相談ください。

ご家庭で回覧し、として保存くだされば幸いです。